

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ : <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

かわさき 車窓物語

第6回

路線バス（小杉駅前～鷺沼駅ゆきなど）の岩川～影向寺バス停付近、高津区千年から宮前区野川にかけて広がっている、川崎市初の国史跡に指定された「橘樹官衙遺跡群」を取り上げます。発掘調査に携わられた本市文化財課・学芸員の栗田一生さんにご寄稿いただきました。

川崎市のルーツは古代橘樹郡にあり!!

～本市初の国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群－橘樹郡衙跡・影向寺遺跡－について～

日本の古代律令国家体制が制度的に完成したとされる701（大宝元年）の大宝律令^{たいほうりつりょう}では、地方行政組織として全国に66の国と、その国々の下に約600ヶ所の郡が設置されました。そして、66ヶ国の1つである武蔵国^{むさし}の下に置かれた21郡の1つとして、橘樹郡も設置されました。

現在の川崎市域は、古代橘樹郡の範囲とほぼ同じであると考えられることから、川崎市のルーツはこの古代橘樹郡であるといえます。

律令体制の下で郡を治めるために置かれた役所のことを郡衙^{ぐんが}といい、古代橘樹郡に置かれた役所は橘樹郡衙と呼んでいます。古代の川崎市役所ともいえる橘樹郡衙跡では、郡内から集めた税を納めた倉庫である正倉院^{しょうそういん}が規則的に配置されていたことが確認されています。

かつて、橘樹郡衙の所在地は長らく謎でしたが、平成8年に行われた宅地造成工事に伴う発掘調査で、東西に規則的に並ぶ7棟の掘立柱建物跡が発見され、ここが橘樹郡衙正倉院の一部であると推定されました。この発見を受け、市教育委員会が平成10年から7年の歳月をかけて確認調査を行い、千年伊勢山台^{ちとせいせやまだい}の丘陵東側に郡衙正倉院が展開することを確認しました。さらに、平成25年度から確認調査を再開し、正倉院西側地域にも郡衙

関連の建物群がさらに広がることが明らかになりました。

一連の調査により、橘樹郡衙跡と西側に隣接する古代橘樹郡の郡寺である影向寺遺跡が、7世紀後半～10世紀にかけての古代地方官衙の成立から廃絶までの推移を知る上で、全国的にも貴重な遺跡であると評価され、平成27年3月10日、「橘樹官衙遺跡群」として川崎市初の国史跡に指定されました。

橘樹官衙遺跡群には、国史跡に指定された範囲以外にも郡衙または寺院に関係する重要な遺跡が見つかっています。大部分が宅地となっているため、調整はなかなか難しいものがありますが、川崎市の宝物として、今まで以上に、多くの市民の方々に利用され、親しんでもらえるような取り組みを行っていきたいと思います。



発見された橘樹郡衙正倉跡（高津区千年）

もっと詳しくお知りになりたい方は、昨年発行された報告書「神奈川県川崎市橘樹官衙遺跡群の調査」ほか、ガイドマップなども図書館で所蔵していますので、ぜひ、ご覧ください。また、10月にはシンポジウムが開催される予定との事です。おでかけになってはいかがでしょうか。

神奈川県図書館協会功労者表彰団体を紹介します

「ひよこの会」と「おはなしくまん」の2団体が神奈川県図書館協会から功労者として表彰されました。両団体とも多年にわたり図書館活動を支援してくださいました。両団体からコメントをいただきましたのでご紹介します。受賞団体の皆様、おめでとうございます。

ひよこの会

川崎市立図書館田島分館とともに歩んできた「ひよこの会」は、設立23年目を迎えます。毎週定例のお話し会を、職員の方1名、ボランティア2名で協力して続けています。絵本や紙芝居、素話、パネルシアターなど工夫して楽しい活動を目指しています。これからもお話しの世界の楽しさを伝えていきたいと思います。



おはなしくまん

おはなしくまさんの活動を始めて早26年。中原図書館主催のおはなし会の参加を軸に活動してまいりました。旧中原市民館の「パネルシアターと手袋人形」の講座を受講したメンバーから始まり、今は30～60代のメンバー10人で行なっています。「無理をしないで、今、できる人がやる」をモットーに、「おばあちゃんくまん」と言われるまで、この活動を続けていきたいです。

第26回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今年度は、一年間、多摩川をテーマにおおくりします。今回は、「生き物」にスポットをあてて紹介します。



A：『多摩川森林組合—マルタ釣りの考察—』

多摩川森林組合／編 未知谷 2013

犬を組合長とするユニークな多摩川森林組合。なぜ森林組合なのか？それは多摩川に「丸田（マルタウグイ）を伐りに行く（釣りに行く）」のが大好きな釣り師の集団からです。そんな多摩川大好き、マルタウグイが大好きな集団が多摩川でのマルタ釣りをユーモアに富んだ表現で編集してあります。マルタウグイの釣り方だけではなく、食べ方や多摩川についての考察まで書かれた釣り好きではなくとも楽しく読める1冊です。



A

B：『川辺の昆虫カメラ散歩—多摩川水系250種の虫たち—』

海野和男, 森上信夫, 水上みさき／著 講談社 1999

上流から下流まで四季を通じて多摩川や、その河原を住処とする昆虫を撮影した写真で紹介しています。多摩川近辺の公園などの撮影スポットや昆虫などのほか、撮影に使われた機材のデータなども掲載されています。昆虫を探しながら、多摩川を歩く際のお供に最適です。



B

C：『アユ百万匹がかえってきた—いま多摩川でおきている奇跡—』

田辺陽一／著 小学館 2006

昔は水質がよく、泳ぐ人も多かった多摩川が、高度成長を期に水質を大きく低下させました。その結果、かつては産卵のため遡上するたくさんの鮎の姿は見るのが難しい状況になってしまいました。現在では水質浄化への取り組みや堰・魚道の整備などに加え、鮎の放流事業により、たくさんの鮎の遡上を見ることができるようになりました。多摩川の水質や環境、生き物の変化を細かいデータや図も踏まえわかりやすく記されているドキュメンタリー作品です。



C

ご来場ありがとうございました

読書のまち・かわさき 講演会と展示会

絵本作家かこさとし 川崎の思い出

— 1950年代のセツルメント活動と子どもたち —

絵本作家かこさとし（加古里子）さんをお迎えして読書のまち・かわさき読書普及講演会および展示会「絵本作家かこさとし川崎の思い出 — 1950年代のセツルメント活動と子どもたち —」を開催いたしました。1950年代、会社員だったかこさんは、休日には現在の川崎市幸区に通い、子ども達へ自作の紙芝居などを見せていた川崎にゆかりの深い方です。

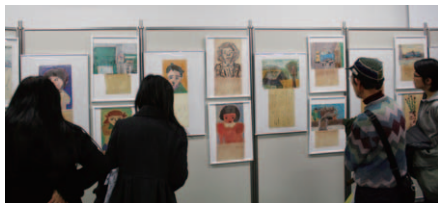
2月17日に行われた講演会には、360人以上の方にご参加いただきました。かこさんのお話のほかに映像（セツルメント活動の紹介と当時活動されていた場所にかこさんが訪れるという内容）も上映されました。当時子ども達に見せていた作品も紹介され、楽しそうな笑い声も聞こえていました。活動に参加されていた子どもだった方など当時の関係者も20人以上参加され、当時を模し



講演会—歌いながら描いてくださいました

て壇上に設置したかこさんの前のいすに座ってお話を聞いていただきましたが、半世紀ぶりの再会に感激されていました。絵かき歌を歌いながらホワイトボードに絵を描いたり、手書きの資料を用意されるなど、かこさんのあたたかい人柄があふれる講演会となりました。

また、かこさんにとって創作活動の基盤となった、子ども会活動を紹介する展示会を、2月17日～3月15日まで川崎市立中原図書館で開催しました。展示会では、かこさんが当時の子ども達とのふれあいの中で描いた川崎のスケッチや子ども達の作品など、120点あまりが初公開されました。子ども達が描いた絵には、かこさんがコメントを付けたものもあり、「いろはとてもうつくしい」「形をよくみてかくとよい」など、ひとつひとつ良い点・悪い点が丁寧に書かれていて、かこさんの深い愛情が感じられました。かこさんは今回展示されたものの他にも、200点を超える子ども達の作品を大切に保管されているそうです。



展示会—親子連れも多く盛況でした

川崎フロンターレと本を読もう！



川崎市立図書館では、2009年からサッカーJ1チームの川崎フロンターレと協働で、サッカーと読書を盛り上げる活動をしています。これまでの活動の一部をご紹介します。

キックオフ！“読書のまち かわさき”

選手おすすめの本を紹介した小冊子を作成し、配布しています。昨年度までにVol.6まで発行しています。選手の写真が入ったしおりも配布しておりますので、ぜひご利用ください。

おはなし会

図書館や小学校で、人形劇団ひとみ座とともに、選手・コーチによるおはなし会を実施しています。ひとみ座による人形劇では、フロンターレのマスコットであるフロンタ達も登場します。

今年度もおはなし会などのイベントを企画しています。詳細が決まりましたら、図書館ホームページなどでお知らせいたします。どうぞご期待ください。

ご存知ですか？

学校の図書室を一般開放しています！

～ 学校図書館有効活用事業 ～

学校図書館（図書室）を一般開放し、図書の閲覧・貸出サービスを行っています。

大人向けの本もご用意していますので、子どもから大人まで、地域の皆様に読書を楽しんでいただけます。また、図書室内の机は自由にご利用可能ですので、学習スペースとしてもご活用いただけます。

開放日時は主に土・日曜のお昼前後です。休日の昼下がりには、普段ご利用の図書館とはまた違う雰囲気の中で読書を楽しまれてはいかがでしょうか。



本の貸し出しには市立図書館とは別の専用カードの発行が必要です。
初めてご利用の方は、ご住所・お名前の確認できるもの（健康保険証・運転免許証など）をお持ちのうえ、開館日に受付でお申込みください。

開館学校一覧

★井田小学校（毎週土・日曜11:00～15:00）

★西梶ヶ谷小学校（毎週土・日曜10:00～14:00）

★稗原小学校（毎週土曜9:00～13:00）

★宿河原小学校（毎週日曜10:00～14:00）

★岡上小学校（隔週土曜10:00～12:00）

★下河原小学校（隔週土曜9:00～13:00）

★久地小学校（隔週土曜10:00～13:00）

★土橋小学校（毎週日曜・隔週土曜10:00～14:00）

★南菅中学校（毎週土曜11:00～15:00）

★金程小学校（毎週日曜9:00～13:00）

※ 詳しい利用方法や開館日のカレンダーはホームページでご確認ください。

【<http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000018464.html>】

お問い合わせは … 生涯学習推進課 電話 044-200-3303（平日8:30～17:15）

自動車文庫での返却本回収について

各区にある図書館・分館で借りた本・CDを自動車文庫で返すことができるようになります。なお、次の点についてご注意ください。

- 自動車文庫で貸し出し期間の延長はできません。
- 他の自治体から取り寄せた本は返せません。
- 自動車文庫では返却のデータがリアルタイムに反映されません。同日に図書館をご利用になる場合は、その図書館へのご返却をお願いします。

お問い合わせ 宮前図書館 044-888-3918



編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)